



令和6年2月14日

各位

会社名株式会社 s M e d i o
代表者名 代表取締役社長 岩本 定則
(コード番号：3913 東証グロース)

問合せ先 コーポレートコント
ロール 本部長 杉山 了
兼 経営企画室長

(TEL. 03-6262-8660)

商号変更、新たな事業の開始及び定款の一部変更に関するお知らせ

当社は、本日開催の取締役会において、以下のとおり、新たな事業を開始することを決議するとともに、商号および定款の一部変更について、令和6年3月28日に開催を予定する第17期定時株主総会に付議することを決議いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 商号の変更について

(1) 変更の理由

当社は2007年に設立以来、自社保有技術を活用したテクノロジーソフトウェア・サービス開発を強みとし、ライセンス提供することを主な事業としています。しかしながら、当社の主戦場としているパソコン・デジタル家電領域では、消費者ニーズの変化や製品のコモディティ化が進んでいる状況にあり当社製品を搭載する顧客製品の出荷数が伸び悩んでいる現状があります。

一方で、社会全体は大きな変革期にはいり、AI、IoT、ビッグデータなどを活用した既存システムからの脱却や新たなビジネスモデルの創出（DX：デジタルトランスフォーメーション）、気候変動や環境破壊の抑制を目指す再生可能エネルギーの導入（GX：グリーントランスフォーメーション）が急速に進んでいます。

これらの当社を取り巻く環境の変化に対応し、「テクノロジーで社会を豊かにする会社」から「テクノロジーで持続可能な未来を築く会社」に変革していくため、商号を「株式会社 sMedio」から「GreenBee 株式会社」へ変更することといたしました。

「Green」は環境配慮の姿勢を表します。「Bee」は協働の姿勢、すなわち、蜂は環境の持続可能性に不可欠な存在であることから、社会や環境への積極的な貢献を目指す当社の姿勢を示しています。

「GreenBee 株式会社」は、環境配慮、協働の精神を重視しつつ、これまで培ってきたテクノロジーに関する知見を活かしながら、業務フローの改善などに貢献する「DX サービス

事業」のさらなる拡大と、エネルギー管理サービスを軸としたトータルソリューションを提供し省エネやCO2排出量削減の課題に貢献する「GXサービス事業」に挑戦していき、テクノロジーで持続可能な未来を築く会社を目指してまいります。

(2) 商号

GreenBee 株式会社 (英文名: GreenBee, Inc.)

(3) 変更予定日

令和6年4月1日

(4) その他

本商号変更は令和6年3月28日開催予定の第17期定時株主総会において、定款の一部変更が承認される事が条件となります。

2. 新たな事業の開始について

(1) 事業開始の背景

社会全体として脱炭素化の実現に向けて進んでいる中、電力の需給調整やBCP(事業継続計画)対策を目的として、蓄電池システム需要の急拡大が見込まれております。日本政府は2050年カーボンニュートラル実現を宣言しており、その実現には蓄電池システムの配置が不可欠です。

当社はこの状況を好機ととらえ、蓄電池システムおよび関連する再生可能エネルギー製品・サービスをラインナップし、コンサルティングから導入・運用までワンストップで提供できるサプライチェーン(供給網)を構築・強化を図ることにします。

蓄電池システムは、蓄電池本体とともに各種IT機器やAIを利用したEMS(エネルギーマネジメントシステム)が重要な構成要素となっており、当社がこれまで培ってきた技術を活用できる分野であることも再生可能エネルギー事業に参入を決定した主な理由の1つになります。

脱炭素化に向けたソリューション提供を通じて、社会への還元と課題解決に努め、存在価値の高い企業体となることを目標とします。

(2) 新たな事業の概要

ア. 新たな事業の内容

蓄電池システムおよび関連する再生可能エネルギー関連製品をラインナップし、コンサルティングから導入・運用までワンストップで提供する予定です。

〈主な製品・サービスラインナップ〉

- ・EMS(エネルギーマネジメントシステム)
- ・スマートデータロガー

- ・蓄電池
- ・パワーコンディショナー
- ・太陽光発電モジュール
- ・EV 充電器等

<ビジネス全体像>



イ. 新たな事業のために特別に支出する予定額の合計額

現時点において、特筆すべき支出はありません。また、必要な資金については自己資金で実行することを想定しております。

(3) 日程

取締役会決議：2024年2月14日

事業の開始時期：2024年2月14日

(4) 今後の見通し

本事業が令和6年12月期の通期連結業績予想に与える影響は、令和6年2月14日に公表しました令和6年12月期の通期連結業績予想に反映しております。

3. 定款の一部変更について

(1) 定款変更の理由

前述の商号変更および新たな事業の開始にともない、第1条（商号）および第2条（目的）を変更するため。

(2) 定款変更の内容

現行定款	変更案
<p>(商号)</p> <p>第1条 当社は、株式会社 <u>sMedio</u> と称し、英文では、<u>sMedio, Inc.</u> と表示する。</p> <p>(目的)</p> <p>第2条 当社は、次の事業を営むことを目的とする。</p> <p>1 ソフトウェア開発、サービスおよび販売</p> <p>2 電子機器開発、サービスおよび販売</p> <p>3 ソフトウェア、電子機器等の輸入および輸出</p> <p>4 インターネットを使用したソフトウェアのダウンロードサービスおよび販売</p> <p>5 ソフトウェアの受託開発および受託販売</p> <p>6 前号に付帯関連する一切の業務</p> <p style="text-align: center;">(新設)</p> <p style="text-align: center;">(新設)</p>	<p>(商号)</p> <p>第1条 当社は、<u>GreenBee 株式会社</u> と称し、英文では、<u>GreenBee, Inc.</u> と表示する。</p> <p>(目的)</p> <p>第2条 当社は、次の事業を営むことを目的とする。</p> <p>1 ソフトウェア開発、サービスおよび販売</p> <p>2 電子機器開発、サービスおよび販売</p> <p>3 ソフトウェア、電子機器等の輸入および輸出</p> <p>4 インターネットを使用したソフトウェアのダウンロードサービスおよび販売</p> <p>5 ソフトウェアの受託開発および受託販売</p> <p>6 <u>再生可能エネルギーに関連する製品の販売やサービスの提供等</u></p> <p style="padding-left: 2em;">(1) <u>エネルギーマネジメントシステムにおける可視化サービスの提供、導入支援</u></p> <p style="padding-left: 2em;">(2) <u>蓄電池システム等の仕入および販売</u></p> <p style="padding-left: 2em;">(3) <u>その他</u></p> <p>7 前号に付帯関連する一切の業務</p> <p style="text-align: center;"><u>附則</u></p> <p>第1条 (商号) の変更は、<u>令和6年4月1日</u> をもって効力を生じるものとし、その効力発生日をもって本附則は削除する。</p>

(3) 日程

定款の一部変更のための定時株主総会開催日	令和6年3月28日(予定)
定款の一部変更の効力発生日	令和6年4月1日(予定)

以上